



網走養護学校だより

令和6年度
第5号
(通234巻号)
3月7日発行

TEL 0152-48-2137

令和6年度もご理解とご協力に深く感謝申し上げます

校長 鴻江 康人

開校51年目を迎え、新たな歴史を踏み出した令和6年度の教育活動も、まもなく終えようとしています。“人生100年時代”と言われる現代においては、まだまだ折り返し地点に過ぎませんが、今年度も学校の主役である子ども達を中心に、保護者の皆様をはじめとする地域や関係機関の皆様など、多くの方々に支えられて、各教育活動や行事に全力で取り組むことができましたこと、心より感謝申し上げます。

春の息吹を感じ始める頃には、新入学生を迎えて令和7年度がスタートしますが、学校が一つになってつながり、これまで築き上げてきたものを大切にしながら、新たな時代へと共に進んでまいりましょう。また、令和5年度から設置となった学校運営協議会（コミュニティスクール）も2年目を迎え、保護者や地域の皆様、関係機関の皆様との熟議を重ねており、少しずつであります地域における本校の役割について、深めることができました。

今後も学校取り巻く様々な立場の皆様のご意見を取り入れながら、新たな学校運営を進めてまいります。ご理解とご協力のほどをよろしくお願いいたします。

令和6年度学校評価の結果から

保護者の皆様には、本年度も学校評価アンケートにご協力いただき、感謝申し上げます。学校評価は今年度の教育活動や学校経営について評価し、学校としての組織的・継続的な改善につなげていくものです。全体的な評価点の平均点は3.42、教職員の平均点は3.07、保護者の平均点は3.77で高い評価をいただきました。①②は評価の高かったもの（保護者評価、教職員評価）、③は評価の低かったもの（教職員評価、保護者評価は2点台なし）、④は教職員と保護者の評価差が大きいもの、⑤は自由記述から主な保護者の声、⑥は学校課題としてピックアップしたものをまとめています。

①【保護者】高評価項目

項目	評価点
個別の指導計画の活用と確かな学力等の育成	3.79
いじめ防止、適切な指導・支援	3.79
学級費などの適切な説明	3.76
わかる授業づくり	3.76
食育、食事の適切な指導	3.76

②【教職員】高評価項目

項目	評価点
安全点検の適切な実施	3.25
いじめ防止と適切な指導	3.23
学校行事の適切な実施	3.23
危機管理マニュアルの整備と緊急時の対応	3.18
日常生活の指導・余暇活動の適切な実施	3.16

③【教職員】低評価項目（評価が2点台）

項目	評価点
食育・食事の適切な指導	2.87
業務の効率化・時間外勤務縮減	2.89
個別の指導計画活用と授業	2.92
キャリア・学びの連続性	2.97
教科別指導の適切な実施	2.97

*保護者回答で、低評価項目はなし。

④教職員と保護者の評価差が大きい項目

項目	評価差
食育・食事の適切な指導	0.89
個別の教育支援計画の作成と活用	0.87
個別の指導計画の活用と確かな学力の育成	0.73

⑤ 保護者からの主な意見等

項目
1. 学校行事に関すること→日程調整
2. 給食に関すること →給食便りの配布、給食費について
3. 校内環境に関すること →スリッパの修繕、プール再開
4. 安全管理に関すること →危機管理マニュアルの共有、寄宿舎の防犯対策
5. 教職員採用に関すること →熱意ある教職員

⑥ 学校課題と考えるもの

項目
1. 個別の教育支援計画・個別の指導計画の改善
2. 教職員間の連携と職場環境の改善
3. 業務効率化・時間外勤務縮減
4. キャリア教育の改善
5. いじめ防止と指導体制の強化
6. 食育・食事指導
7. 教育環境の改善

保護者評価については、「個別の指導計画の活用と確かな学力等の育成」、「いじめ防止」などで、高水準の評価をいただきました。これらは、日常の教育活動に対するご協力を得ながら、児童生徒の姿を中心に一体となって学校運営を推進してきた姿勢が、開校以来根付いていることが要因と考えられます。今後も、障害の多様化、地域における学校の役割等の視点を踏まえた関係機関との丁寧な合意形成を図りながら、教育活動を展開していきます。

また、記述の中には、一部説明内容の不足や連携の在り方について、改善を求める意見もありました。学校安全管理や校内環境整備については、すぐに取り組める内容をピックアップし、家庭への情報提供及び改善策の検討をしているところです。施設設備や給食の在り方等については、道教委の施策と関連するところですが、学校として取り組める部分に注力し、引き続き教育環境の充実に努めていきます。その他、個別の指導計画の説明や評価の在り方、学校行事への期待、教科指導の内容等についても、ご理解とご協力を得ながら、取り組んでまいります。

卒業制作(小学部)

『オリジナルファイルケース』

小学部6年生の卒業記念作品は「オリジナルファイルケース」です。国語・算数や図工など、何かと学習で使用する事の多いA4サイズのファイルケース。その中に、自分の好きな絵を描いた板を貼り付け、オリジナルのケースに変身させました。最初に、どんな絵を描きたいかを選び、次に下絵を描き、絵の具で着色しました。手型にしたり、筆で線に沿って塗ったりと、一人一人描きたい方法を変えながら取り組みました。途中で画法を変更して、やり直した友達もいて、制作時間は思っていたよりもかかりましたが、最終日には全員が力を込めて、板をケースに貼り付け、無事完成させることができました。中学生になって、何を入れて使うかは楽しみです。



卒業制作(中学部)

『モザイクアート』

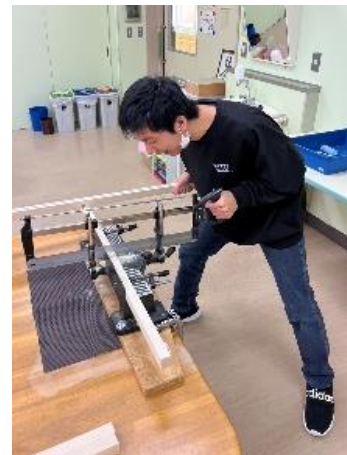
中学部での3年間の思い出とお世話になった方々へ感謝の気持ちを込めて、モザイクアートを作りました。思い出を振り返りながら、自分たちで選んだ写真を使用しています。額縁は、様々な色のタイルやビーズを使って飾り付けをしました。自分でタイルの大きさや配列を考え、オリジナルの額縁を作ることができました。一人一人のこだわりが垣間見える額縁となっています。モザイクアートの中心には、今までお世話になったお父さんやお母さん、先生方などに感謝の気持ちを込めて「ありがとう」の文字を書きました。ぜひ、ご家族と一緒に写真を見ていただき、子ども達の成長や思い出を振り返っていただけたらと思います。



卒業制作(高等部)

『スタンドサイン』

今年の3年生は、高等部の販売会や学習発表会等で用いる「スタンドサイン(看板)」を制作しました。制作をする際には、「感謝」、「協力」、「挑戦」をテーマに取り組みました。看板作りは初めての挑戦でしたが、木材を切る、文字の彫刻、背景の作成など、3人で協力しながら完成させることができました。また、2月に行われた冬の学習発表会での活用や、昨日行われた3年生を送る会で感謝の気持ちを伝えて、後輩たちに看板を渡すことができました。卒業制作を通して経験したことや学んだことを生かして、3人が素敵な社会人となって羽ばたいて欲しいと思います。



編集後記

今号は、学校長挨拶および学校評価の結果と各学部の卒業制作についてお伝えしました。

令和6年度の学校だよりの発行も、今号が最終号です。

今年度も本校の教育活動にご協力頂き、心より感謝申し上げます。次年度もどうぞよろしくお願い致します。

(文責：船水)



学校のホームページのアドレスと二次元コードを掲載します。どうぞアクセスしてご覧ください。